

歴史をつなぎ新たな風を 全県かけ唄大会&じんじゃず

8月23日に、六郷の熊野神社境内を会場に、全県かけ唄大会とじんじゃずが催されました。

かけ唄大会に先立ち第3回目となる、神社を会場にした音楽イベント「じんじゃず」が開催され、町内外から集まった演奏者が往年の名曲や民謡のアレンジなどを披露しました。集まった多数の観客からは歓声が上がり、新たな行事として定着してきているのを感じました。じんじゃずの終了後、第63回全県かけ唄大会が開催され、11名の唄い手が歌声と掛け合いの妙を披露しました。

「かけ唄」は、仙北荷方節に即興の歌詞をつけて2人の唄い手が掛け合う歌合戦で審査は「唄の上手さ」と「文句の出来」の両方から行われます。深夜にまで及んだ大会の結果、中川原信一さん(横手市)が2年連続で最優秀賞を受賞しました。



秋田の元気を美郷から 美郷カレッジ

8月29日に、宿泊交流館ワクスにて美郷カレッジが開催されました。第3回となる今回は、大原美術館の館長であり、美郷大使でもある高階秀爾さんを招き「日本人の美と心の故郷 秋田」をテーマに講演を行いました。藤田嗣治や小田野直武など秋田にゆかりのある画家の話から、西洋と日本の芸術の違いなどを通じて、秋田の文化について学びました。一般講義の後は、特別講義「夜なベトーク」で参加者は講師と直接触れ合いながら、知識と交流を深めました。



いきいきスポーツ健康のまち 美郷町チャレンジ健康マラソン

9月5日に今年も美郷町自転車競技場をメイン会場とした美郷町チャレンジ健康マラソンが実施されました。レースではなく健康づくりを目的としたこのイベントはウォーク&ランコース(3km)とファミリー&チャレンジコース(6km)の2つのコースが用意されています。当日は町内外から59名の参加者が集まり、各々のペースで全員が完走し、皆で気持ちのいい汗を流しました。



中学生が町の魅力を発信 美郷中学生が 東京都大田区で美郷町をPR

9月2日、美郷中学校の3年生が、友好都市である東京都大田区で美郷町のPR活動を行いました。この取り組みは、生徒のコミュニケーション能力を養うと共に、地元美郷の魅力を再認識し広く発信しようと修学旅行の一環として実施しています。

当日は生徒169名が6班に分かれ、大田区役所前やJR蒲田駅周辺で、ニテコサイダーなど名産品の試飲や試食を通じて美郷町をPRしました。





世代を越えてタスキを繋ぐ
秋田25市町村対抗駅伝
ふるさとあきたラン!

9月13日、横手市ふるさと村をメイン会場に第2回目となる秋田25市町村対抗駅伝「ふるさとあきたラン!」が開催されました。このイベントは県内各市町村から選出された、小学生男女、中学生男女、高校生男女、一般男女、壮年の計9区間でタスキをつなぎ競い合う駅伝大会で、2回目の今年は横手市での開催となりました。25市町村から36チームが参加した今大会では、美郷町は見事「町の部」で2位(総合14位)となりました。



思慮の秋

美郷町長 松田知己

風



第3回美郷カレッジにてあいさつをする美郷町長

昨年暮れの話です。六郷高校の校長先生より、生徒に向けて扁額を作成したい由で揮毫を依頼されました。まったく字に自信はありませんので迷いましたが、結果的にお受けしました。美郷町合併十周年記念で美郷大使の方々に揮毫を無理にお願いした立場上、逆の立場になりお断りするのは、あまりに都合良いと思っただけです。選定した言葉は「博学篤志」。大切な高校生時代に、広く(博く)学んで、熱心に(篤く)志

してもらいたいと思ったからです。出典は「論語」です。偉人の言葉ですので言葉には力がありますが、書は随分と練習したもの、まったく自信なく申し訳ない次第です。さてその論語、多くの故事成語の出典となっていますので、それとは知らず、多くの方が論語の言葉を耳にしているものと思います。有名な「温故知新」という言葉もその一つです。中学生以上であれば解説が不要なくらい、皆さんご存じの言葉です。十月一日、その「温故知新」を核心に据えた施設がオープンします。旧千畑南小学校校舎を活用して整備した、美郷町歴史民俗資料館です。合併前3カ所にあった歴史民俗資料を一堂に集め、広く美郷の来し方を確認

できる施設です。特にわら細工は貴重な作品も展示しています。また、元東京大学総長 佐々木毅先生の記念室も併設し、その意味では複数の意義を有する珍しい複合施設です。こうした施設を整備した目的は申すまでもありません。美郷町の未来を、古からの時間軸を意識して創っていきたいからです。美郷町は始点から常に前を向いて歩いてきましたが、その歩みも一定の時間(十年)を刻み、次の目標に向かっていく段階にきています。そのためにも、温故知新の意識と思慮は大切に思うところです。皆さんにはぜひ訪れていただき、美郷地域の来し方、とりわけ先人の努力に想いを馳せていただきたいと思います。そこから湧き上がる想いこそ、未来に期待し努力する姿の輪郭だろうと思います。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、いろいろな側面を持つ秋ですが、今年はみなさんで「思慮の秋」にしてみませんか?